

正誤表	2026 年版 司法試験・予備試験 逐条テキスト 7 刑事訴訟法
-----	----------------------------------

本書において下記の通り誤りがございました。
内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。
恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

早稲田経営出版

ページ	誤	正	更新日
36	論文マテリアル 接見指定の適法性 1 行目 (36 条 3 項本文)	(39 条 3 項本文)	25/12/26
46	1. 意義 6 行目 勾留求令状が発付されない場合 2. 勾留の理由① (住居不定) 4 行目 居住期間・住居登録の有無等	勾留状が発付されない場合 居住期間・住民登録の有無等	25/12/26
48	論文マテリアル 勾留請求が認められるか 11 行目 ②犯罪の疑義があること (60 条柱書) 下から 7 行目 (2 か所)・下から 5 行目 被告人	②犯罪の疑義があること (60 条 1 項柱書) 被疑者	25/12/26
50	1 行目 (見出し)・2 行目 (本文 1 行目) 移監	移送	25/12/26
58	下から 2 行目 保釈金の納付	保証金の納付	25/12/26
73	検証 注解 2 行目 法廷に <u>検</u> 出することが望ましいが	法廷に <u>顕</u> 出することが望ましいが	25/12/26
93	上から 8 行目 (§ 197 I)	(§ 197 I <u>但書</u>)	25/12/26
307	(1) 定義 1 行目 受訴裁判所が主 <u>催</u> して	受訴裁判所が主 <u>室</u> して	25/12/26
309	第 316 条の 2 1 項 4 行目 (最終行) <u>同</u> 18-30、 <u>同</u> 19-23、 <u>予</u> 7-18	<u>同</u> 18-30、 <u>同</u> 19-28、 <u>予</u> 7-18	25/12/26
310	上から 10 行目 検察官 <u>や</u> 弁護人は、	検察官、被告人 <u>及び</u> 弁護人は、	25/12/26
334	【違法収集証拠排除法則：最判昭 53.9.7＝ 百選№88】 下から 2 行目 その <u>認</u> 拠能力は否定されるもの	その <u>証</u> 拠能力は否定されるもの	25/12/26

以上